

板橋

の

印刷製本

板橋

の

印刷製本

目次	02
掲載企業一覧	03
インタビューコラム1	04
企業紹介1	08
インタビューコラム2	20
企業紹介2	24
インタビューコラム3	34
板橋区の紹介	38
奥付	40

いたばし印刷株式会社

株式会社イニユニック

ウキマ

株式会社エイエヌオフセット

株式会社永光舎

大村製本株式会社

株式会社オフセット岩村

株式会社技光堂

恵友印刷株式会社

株式会社国宝社

三修印刷株式会社

島田製本株式会社

株式会社伸光堂

株式会社新寿堂

株式会社清美堂

有限会社多田製本

株式会社田中紙工

手製本工房まるみず組

日経印刷株式会社

福島印刷工業株式会社

牧製本印刷株式会社

株式会社ワカプロ

板橋のミライ

株式会社オフセット岩村
岩村 貴成



株式会社田中紙工
田中 眞文

No.1

INTERVIEW

板橋の印刷製本の魅力は何ですか？

岩村 魅力と言えるかというのはありますけど、板橋が印刷と製本のまちってというのは都内に関わらず全国的に「多い街だよね」と言われます。某テレビ番組で板橋が特集された時も3位が「印刷・製本関係の会社」となっていたので主要産業の一つとして認知はあると思うのですが、認知をどうブランド化していくかが今後の課題ではあります。

田中 そうですね。実際に板橋で印刷したものと、他で印刷したものが品質的に変わるってわけじゃないですからね。

板橋区内に印刷製本業者が集積しているから仕事がやりやすいし、お互い社長同士も顔が見えるっていうのもあるし、そういう点で信頼が置けるのかな。

岩村 ブランド化っていうとやはり製品の品質を統一しなきゃ。じゃないですか？

田中 品質保証的な部分？

岩村 そうですね。今治タオルや揖保乃糸など、差別化が難しい中でちゃんと地域の産業をブランド化して、世界的に見ても日本の品質としてジャパニーズ・スタンダード的な高品質でいいものを皆さん普通に作られている。

田中 海外の印刷物にはピンホールが目立つようなものがあったり、見当がずれていたり普通にしますから、そういう点では日本の印刷物は品質が高いですね。

株式会社田中紙工

田中 眞文氏

なぜ日本の印刷物の品質は高いのですか？

田中 日本人の特性というか、言われた納期に言われたものを納めれば良いっていう考え方じゃなくて「どうせならより良いものを作りたい」っていう作り手側の日本人の感覚っていうのかな？そういうものがあると思うんですよね。

岩村 課題なのはその付加価値に対して金銭的な部分が二の次になってしまうのが良い国なんですけど日本の産業全体を厳しくしてしまっている。

ワールド・スタンダードを目指すならその付加価値に金銭的な部分をちゃんと乗せないといけないと思うんですよね。

日本の印刷物は品質が高い

CO2を排出しない地産地消

その中で板橋の付加価値を 付けるとしたら何ですか？

岩村 地産地消ですかね。世界的に見てもCO2を排出しない物流が求められていて、お客さまによっては既にCO2排出量の軽減を要求してきています。

地域と工場が近いことでCO2を排出しないでお客さまにものが届けられる。それをブランドと言えるかどうかは未知数ですし、色々と考えなきゃいけない課題はあると思うのですが、それが今の僕が考える板橋の付加価値ですかね。

田中 確かに板橋に印刷製本の事業者が集積していることで、同じものを作るでも他所と違ってあちこち遠くへ移動しなくても開発できるのはこれからの時代の付加価

値と言えるかもしれないね。

岩村 日本は資源の少ない国なので資源リサイクルは世界的に進んでいて、日本の古紙のリサイクル率は世界的に高く、例えばチリ紙交換など文化的にも昔から資源を無駄にしないという考えが日本には当たり前にある。

田中 江戸時代からエコロジーなんですよ

岩村 そうです。新紙も計画的に植林された樹木のパルプを使っており、樹木を伐採した後も新しい若木を計画的に植林して育てています。

樹木自体が育つ過程でCO2を吸収しているわけですから、新紙も資源サイクルとして環境に優しいはずなのに紙を使うことが環境に悪いというイメージが一般にはある。こういったイメージの払拭も板橋として積極的にやる必要があると考えています。

板橋ブランドを 作るとしたら どんな姿ですか？

田中 私が思うに品質はもう良くて当たり前みたいな部分もあるので、それ以外の部分も重要だと思っています。やはり各社の経営が安定しないと。板橋ブランドを付けたのに発注したらすぐに潰れちゃったってわけにはいかない。各社ごとにどういう経営方針でやってるかっていう板橋ブランドとしての行動規範みたいなものがあって、お客さんに喜んで頂くために板橋ブ



株式会社オフセット岩村

岩村 貴成氏

ランドとしてみんなで共通認識を持って実践してます。みたいなものも品質以上に重要だと思っています。

岩村 品質以上に実は凄いアドバイスをしてて、そこにキャッシュポイントがあるのに今はサービスでやってる部分が沢山ある。

経験と知識がどれだけ製品に対して付加価値を生んでるかっていうのは、もう少しアピールしても良いんじゃないかなって思います。

田中 板橋の場合は集積しているので「これはあそこができる」「これはあそこでできる」って感じで板橋の会社は大体わかってるので、無理難題でも「とりあえず聞いてみますよ」とか、即答できる場合もあるし、そういう対応は他の地域よりも優位性があるんじゃないかなと思います。

板橋ブランドの価値は何だと思いますか？

田中 例えば製本でお客さんから用途と形態を聞いて「こんな仕様にできないか」と言われた時に、想像するにそれは今まで世の中になかったような加工をした商品で、でも「あその加工とあその製本のあれを合体すればできる」とかっていう新しいやり方やアイデアを考え思いついたりする結構クリエイティブな部分もあるので「専門知識を持ったアドバイザー」として板橋ブランドを利用して貰いたい。

岩村 これは皆さんが既に持っている技術だと思うんですけど、型というか基本となるパターンがあって、その型をお客さんの要望に合わせて崩していく。崩すから型破りな商品ができるっていうのがあるんです。

お客さんの要望をデータ通りに印刷するんですけど、お客さんの感性が入っているので結局データ通りではなくて、もう少し明るくとか、暗くとかメリハリとかってなるのでデータを崩して型を破ってアウトプットする。

機械はスキルレスでマニュアル通りに動きますから、そこから何ができるかできないかっていうのは求められる経験と知識が全く違う。

型がちゃんとあって、ちゃんと型を崩せる。そこが板橋ブランドとしてお客さんに選ばれる理由であって、僕が目指してる付加価値のキャッシュポイントですね。

板橋の印刷製本の未来についてお聞かせください

田中 ものづくりの楽しさっていうか、そういう部分をもっと前面に押し出したいなっていうのがあって、メモ帳が好きとか、絵本が好きとか、我々自身のそういうPRがちょっと足りてないかなと思う部分があるんですよ。

岩村 そうですね。やってる作業は同じでも出てくる製品が違いますから、それはやっぱり楽しみというか、飽きない仕事の一つですね。

田中 それをもっとPRしないと。実際楽しいじゃん。印刷の仕事だってさ、製本もそうだし。

岩村 板橋が特別というわけじゃないですけど、面白そうな人が一番多い、レベルの高い街にこれからもし続けるし、目指し続けていきたいですね。

田中 そうそう板橋は楽しいぞってね。



いたばし印刷株式会社

印刷

代表者 柴崎 誠

従業員数 4人

創業年 2016年

電話番号 03-6913-0451

保有設備機器・装置

- ・ PC (Mac 5 台、Win2台)
- ・ リコーガーメントプリンターRi100
- ・ ローランドプロッター

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓個人の注文OK

✓企画段階から相談承ります

✓特殊な印刷できます



長年印刷業界に携わり豊富な知識から皆様に最良なご提案いたします。地域の皆様と共に歩みデザインからお気軽に相談が出来ます。名刺、封筒、チラシ、カタログ、ポスター、伝票、シール、看板、カッティングシートなど取り扱っております。オリジナルトートバッグや白雲石コースターへ一つからプリントが可能です。世界で一つのオリジナルトートバッグなど作りませんか!!絵本「よろこび」も好評発売中。



株式会社イニユニック

製本

代表者 山住 貴志
従業員数 18人
創業年 1992年10月
電話番号 03-5995-6608

保有設備機器・装置

- ・オフセット印刷機
- ・オンデマンド印刷機
- ・UVプリンタ・活版印刷機・製本機
- ・断裁機・中綴じ機・糸かがり機
- ・ミシン織り機・角丸機 ほか

✓小ロットからOK

✓個人の注文OK

✓自費出版対応できます

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓特殊な印刷できます

✓絵本つくってます



写真集、アートブック、絵本、詩集など自費出版・小ロットからお請けします。作品に合ったこだわりのある凝った装幀仕様をご提案します。(コデックス装、ガンダレ表紙、中ミシン綴じ、上製本ほか) まずはお気軽にご相談ください。



ウキマ

製本

代表者 樋下田 稔
従業員数 1名
創業年 2018年
電話番号 03-3968-2345

保有設備機器・装置
・ RINGKING1
(アイレット綴じステープラー)

- ✓小ロットからOK
- ✓大ロットOK
- ✓個人の注文OK
- ✓特殊な加工できます
- ✓企画段階から相談承ります



穴を空けずに収納出来る綴じ方、『アイレット綴じ』
Ωの形に針金を綴じます。こちらが卓上で綴じれる
特殊なステープラーを日本で唯一の取り扱いをして
います。もし冊数が多い時は製本機械綴じも可能で
す。おきがるにご相談ください。



株式会社エイエヌオフセット

印刷

代表者 井上 裕之

従業員数 130名

創業年 1993年7月12日

電話番号 03-3938-9811

保有設備機器・装置

- ・フルカラーオフセット印刷機
(枚葉、輪転A・B)
- ・オンデマンド印刷機・断裁機
- ・折機・製本機(中綴じ、無線綴じ)
- ・その他各種加工機

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓特殊な印刷できます



板橋区の本社工場以外にも埼玉県、愛知県に工場があり、企画・デザインから印刷、加工までの工程を小ロットから大ロットまで、また、Webやデジタル関連など、幅広く対応できます。

クライアント様が販売促進活動において何を求めているのかを確認・理解し、目的・狙いを達成するために、どのようなメディアや施策が有効なのかを深く考察し、より有効なご提案を行うこと[＝伝わるをもっと]が私たちのスタンスです。

プランニングからデザインワークまで、ワンストップクリエイティブで、成果につながる企画・制作を実現します。



株式会社永光舎

PP

代表者 中島 洋二

従業員数 4名

創業年 1988年

電話番号 03-5998-2823

保有設備機器・装置

ラミネート加工4/6全版機2台

✓小ロットからOK

✓企画段階から相談承ります

✓絵本つくってます



パンフレットや本の表紙にフィルムを貼り付けることで本を守るラミネート加工を行っています。

薄紙でもカールしない技術を先代から引継ぎ、検品作業やお客様からの要望対応など、当たり前のことに対して実直に取り組んでいます。

加工に用いるラミネート紙は圧倒的にツヤが綺麗な国産に拘って使用しています。

大村製本株式会社

代表者 齋藤 和明
従業員数 40名
創業年 1957年
電話番号 03-3969-2361

保有設備機器・装置
一言でいえないくらい多種多様な設備
です・・・

- ✓小ロットからOK
- ✓大ロットOK
- ✓個人の注文OK
- ✓特殊な加工できます
- ✓企画段階から相談承ります
- ✓絵本つくってます



製本



キャッチフレーズは【相談できる製本屋】創業65年を超え、絵本で培った技術とノウハウで様々な加工をしております。絵本はもちろん凝った造本のパンフレット、作品集、ブランドブックなど多種多様な製本を行っております。デザイナーさんからのご相談もお受けしておりますのでお気軽に打合せにいらしてください。

株式会社オフセット岩村

印刷

代表者 岩村 貴成

従業員数 25名

創業年 1980年

電話番号 03-5921-2291

保有設備機器・装置

- ・ UV機 (46全5C、菊全4C)
 - ・ 油性機 (菊全8色機) ・ 断裁1台
 - ・ 折機5台 ・ レーザ加工機
 - ・ 中綴じ機1台
- (表紙がけ+5鞍、A3縦まで製本可能)

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓個人の注文OK

✓自費出版対応できます

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓特殊な印刷できます

✓絵本つくってます



入稿から、CTP出力、印刷、中綴じ加工までワンハウスでワンストップサービスで製造してます。印刷のなかでも金と銀の発色には絶対の自信を持っていますのでお気軽にお問い合わせくださいませ。



株式会社技光堂

代表者 佐野 雅一

従業員数 45人

創業年 1964年

電話番号 03-3962-2324

保有設備機器・装置

- ・製版設備・シルク印刷機
- ・シール印刷機・UVインクジェット機
- ・MPインクジェット機
- ・ラベルプリンター・プロッター
- ・ビク抜加工機

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓特殊な印刷できます



印刷



シルクやシール印刷、オンデマンド印刷の他、本物の金属のように見える独自の金属調印刷を得意としております。(特許取得済)データ作成～製版～印刷～加工まで一貫体制での製品作成が可能です。

恵友印刷株式会社

印刷

代表者 萬上 孝平
従業員数 30名
創業年 1995年
電話番号 03-3558-9311

保有設備機器・装置

オフセット印刷機やデジタル印刷機、製本機その他、豊富なDTPアプリケーション群により制作・校正環境も整っています。

- ✓小ロットからOK
- ✓大ロットOK
- ✓個人の注文OK
- ✓自費出版対応できます
- ✓企画段階から相談承ります
- ✓絵本つくってます



「絵本のまち板橋」で、「ボローニャ・ラガッツィ賞」、「いたばし国際絵本翻訳大賞」などの制作を多数、手掛けています。学術書・学習参考書など教育・研究系その他、アート系や社会福祉関係のコンテンツにも多数の実績があり、出版企画・構想段階からご相談に応じています。



株式会社国宝社

製本

代表者 林 雄一郎

従業員数 70人

創業年 1919年

電話番号 03-3958-2281

保有設備機器・装置

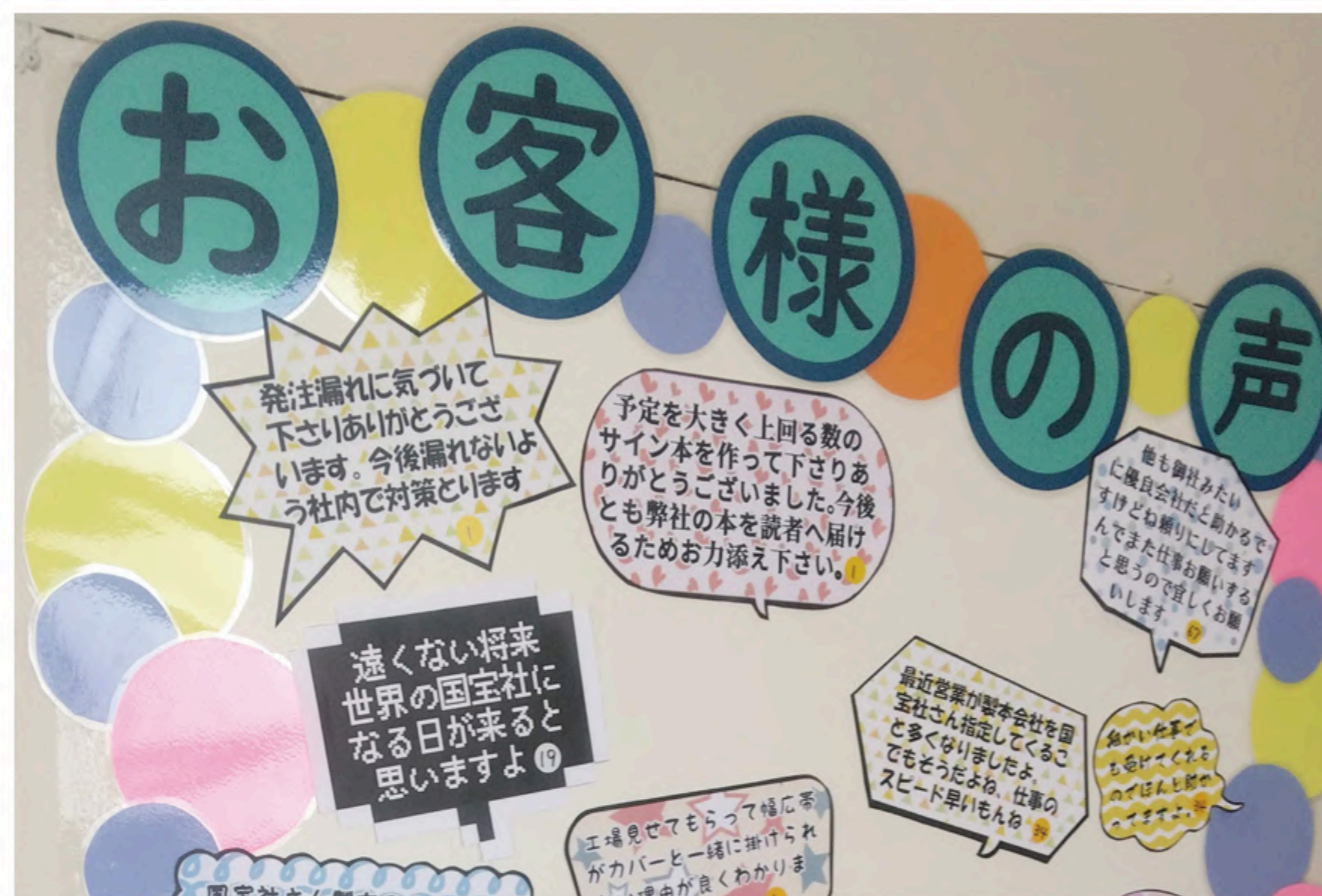
- ・ 平断裁5台
- ・ 折機12台
- ・ 貼込機3台
- ・ 製本3ライン
- ・ 三方色付機 等

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります



創業100年を迎えた国宝社は、「つたえるをささえる」をモットーに取り組んでまいりました。

「製本業界一良い本を届け続ける」「製本のプロとして、お客様が困る前に、困らずにすむ提案をする」ことを皆さまにお約束いたします。

- ① 前加工から製本・納品まで社内にて一貫して対応出来ます。
- ② 平均年齢30代前半の社員たちが事故を未然に防ぐ気づきでお客様に高評価を頂いております。
- ③ 手作業～梱包発送にも対応できます。
- ④ 「三方色付け加工」や「小口くるみ」といった特殊加工に対応できます。



三修印刷株式会社

印刷

代表者 奥 茂夫

従業員数 5名

創業年 1962年

電話番号 03-5995-4116

保有設備機器・装置

- ・オフセット印刷機4色機/2色機
- ・断裁機
- ・折機
- ・マーブル機

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓個人の注文OK

✓自費出版対応できます

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓特殊な印刷できます



創業61年の印刷会社です。企画制作・印刷・製本までの一貫生産体制が強みです。チラシ・ポスター等の商業印刷物がメインですが、企画力を活かした弊社オリジナル文具の販売も行っています。



島田製本株式会社

製本

代表者 島田 武
従業員数 14名
創業年 1963年
電話番号 03-3969-2466

保有設備機器・装置
コルブス、コンパクトライン、2系列
・表紙貼機1台
・断裁機3台

- ✓小ロットからOK
- ✓大ロットOK
- ✓個人の注文OK
- ✓自費出版対応できます
- ✓企画段階から相談承ります
- ✓絵本つくってます



主に書籍、ハードカバーを製本しています。小ロットにも対応致します。豪華本、布表紙、箔押し、ケース等の加工も承ります。女性スタッフが対応。きめ細やかな対応を心がけます。

板橋のミライ

大村製本株式会社
齋藤 和明



恵友印刷株式会社
萬上 孝平

No.2

INTERVIEW

板橋の印刷製本の魅力は何ですか？

萬上 誰もが言うのは産業の集積度ですよね。板橋は産業構造的に大手印刷会社さんを頂点として裾野の広い三角形なんですよ。

なので部分受けとかも含めて何かに特化している会社が当然多く集まっている。

齋藤 紙の加工だけ見ても色んな技術を持った会社が集まっているじゃないですか。お互い知ってるかどうかは別として全国から発注がきてると思いますよ。

逆に僕らに求められるのは隙間産業的なちょっと特殊な加工の絵本だったりなので、他にはない加工だったり、印刷だったりができる会社は板橋にはほぼ集まっているんじゃないかなと思うんですよね。

萬上 板橋の魅力として絵本は良いんじゃないですかね。ご縁のある出版社のベテラン編集者さんが「板橋の良さは絵本に産業のバックボーンを持っていること」と仰っていて、全国でも他に絵本のまちを掲げる自治体はあると思うんですけど、板橋は絵本に産業としてのノウハウや知見を持った人材が集積している強みはあると思います。

齋藤 そうですね。確かに他でも「絵本でまちおこし」みたいなのが沢山あるんですけど、そこに「実際に絵本を作れる」というのが入ってるのは板橋だけなので、そこは板橋の魅力として大きいかもしれないです。



恵友印刷株式会社

萬上 孝平氏

絵本のまち板橋としての強みは何ですか？

齋藤 区立美術館でボローニャ絵本の原画展を毎年やってるというのは結構大きいと思います。地方から絵本好きが毎年必ず見に来るぐらいなんで。

萬上 板橋には本当に立派な区立美術館があって、行くと観覧者で若い方も多くて、期待というか需要というか、ポテンシャルを感じるころはありますね。

板橋がボローニャと友好都市協定があるというだけじゃなくて、板橋自体が絵本のまちとして世界中から作家や作品を呼び込めるようなイベントができれば最高かなと思います。

ボローニャの良い所は、イラストコンクールなんかは若

産業のバックボーンを持つ

ビジネスとしての絵本のまち

手イラストレーターの登竜門と言われていて、5枚1組の絵があれば年齢とか職業とか関係ないんですよ。

間口を広く取っているっていうのがあって、それは板橋でやろうと思えば恐らくできることだと思うんですよ。

齋藤 ボローニャの絵本の見本市は各出版社と作家が版權を売る場としてちゃんとビジネスになってるっていうのは大きいと思います。

板橋も何かしらビジネスとして絵本のまちの強みを持つことが印刷製本の魅力としても大事じゃないですかね。

絵本のまちがビジネスになるのに必要なことは何ですか？

齋藤 絵本において板橋はビジネスに必要なものが全て揃っていると思います。あとは板橋のブランドがそういう意味ではボローニャに倣っていくべきですかね。

ボローニャのように何十年も続けることで認識されることってあるじゃないですか。板橋もそうな土壌は十分にあると思うんです。

萬上 1年1年年輪のように広がっていく。作品とか作家とかの層が厚くなって歴史が自然と何も発信しなくても「ああ知ってますよ」って。時間が多少は必要ですけど。

齋藤 すごく時間も手間暇もかかるけど、なんかそういうので本当にいいものを作って売ってくっていう方が良いのかなって気がします。

萬上 板橋には絵本のまちとして新たなプロダクトをプロデュースする力が既にあると思うので、板橋ブランドとしてシンボリックなパブリッシャーがあっても良いのかなと思っています。

印刷製本に関しては歴史もノウハウもコストマネージメントの仕組みみたいなものも板橋にあるので、板橋ブランドが印刷製本の上流にある編集とか取材とか撮影とかも含めてプロデュースする。

齋藤 板橋には立派な区立美術館があって、ボローニャ絵本の原画展を毎年やってるわけだから、美術館の中に出版部門を作ってもいいんじゃないかな。

それで区内の事業者が美術館に集まってなんか色々そこでやるっていうのが僕はいいんじゃないかなって気がしています。



板橋の印刷製本業として 今からやるべきことは何ですか？

萬上 IT業界とか元気のいいところと組むことじゃないですかね。たぶん印刷会社と製本会社が組むだけでは厳しいかなと思っています。

他と組むことで化学反応とか新しい価値みたいなものが出てきたり、元々持ってる価値に私たちが気づいてアクセルを踏み始めるみたいなことはあると思いますよね。その先に我々より若い経営者がこれから出てきて、この産業で彼らの中から新しい流れみたいなものが出てくる。私たちでさえもう古い。やっぱり若い経営者に期待したいですね。

齋藤 外に向けての発信がすごい大事。どんなにいい本だって知ってもらわないと売れないじゃないですか。だから何か変わった事例を作って世の中に出していけば、それが宣伝になると思うんですよ。今の中身を変えずに売り先を変えるってことです。

なんか面白いことやっていけば必ず人は集まってくると思うんですよ。めちゃくちゃマニアックな人とか尖った人とか、全然違う業種で凄くコアにどっぷり漬かった人が入ってくるとか、それはそれで面白い。

萬上 昔は印刷会社がページのレイアウトや編集みたいなクリエイティブなことをやっていたんですけど、時の流れで受託側として生産能力を誇るような装置産業になってしまって、印刷の中身に興味を失ってしまっている部分があるのかもしれない。

だからそこを取り戻しに行く必要があると思っています、印刷製本に携わる人たちがもっと文化的である必要があったり、頭が切れる必要があるのかなって。そういう人材が出てこないと変わっていかないのはあるかもしれないですね。

板橋の印刷製本の未来について お聞かせください

齋藤 今ある会社がやっぱり元気なことが一番の魅力だと思います。無理して元気を作るんじゃないくて、方法はそれぞれでも仕事があって、利益が上がって、儲かって、みんなから必要とされて。やっぱり一社一社がしっかりと元気があれば人が集まるだろうし。

萬上 元気がないとサステナブルじゃないですね。

齋藤 一番簡単なのは各々がめちゃくちゃ頑張って、凄くエッジが立っている会社がいっぱいあれば、もうそれだけで面白いことができると思います。

萬上 お尻に火が点いてね。追い込まれないとやっぱりポテンシャルとか能力は上がってこないと思います。あとは沢山の人をインボルブしやすいのはやはり絵本だと思います。この産業はもっと開かれた形の方がいいと思っています、もっと子どもを巻き込んだ方がいい。

齋藤 コト作りですね。

萬上 1人1人が主役として自分のバリューを届けられて、その場で化学反応が起こって付加価値が増幅して行く場所ではなくコト。

齋藤 それで盛り上がったら多分、ちょっと楽しい世界になると思う。



株式会社伸光堂

箔押

代表者 中村 勝夫
従業員数 27名
創業年 1972年
電話番号 03-3973-4773

保有設備機器・装置

- ・表紙貼機(4台)
- ・箔押機シリンダー(4台)
- ・MK平圧(1台)・手押機(3台)
- ・断裁機(2台)・角丸機(2台)
- ・ボールカッター(3台)

✓特殊な加工できます



「本の顔を作る技術」。あなたが読書家なら、私たちの加工技術は目に触れているはずです。ハードカバーの装丁、更に雑誌・ポスター・CDジャケット等箔押やエンボス加工で高級感を演出。商品の最終工程の加工技術はお任せを。

※ 因みに、2023年10月7日放映「アド街ック天国 下板橋編」で3位でした。



株式会社新寿堂

製本

代表者 雲野 正夫
従業員数 78名
創業年 1950年
電話番号 03-3558-0111

保有設備機器・装置

- ・四六判両面印刷機1台
- ・折機10台・丁合機1台
- ・糸かがり機10台・背固め機1台
- ・無線綴じライン1ライン(アジロ・PUR)
- ・金付け機1台・色付け、小口磨き機2台
他多数

- ✓小ロットからOK
- ✓大ロットOK
- ✓特殊な加工できます
- ✓企画段階から相談承ります



当社は70余年手帳製本技術を追求し、2019年より並製本(無線)へと製本の幅を広げ、書籍やカタログなども手掛けております。手帳製本独特の複雑な仕様を含め、製版から印刷・製本・梱包出荷までワンストップにて対応が可能です。手帳ブランド「NOLTY」で培った品質を第一に、お客様の要望に耳を傾け、ものづくりに努めています。お気軽にご相談ください。

※小ロットは要相談



株式会社清美堂

製本

代表者 秋田 秀明

従業員数 18名

創業年 1958年

電話番号 03-5998-3232

保有設備機器・装置

- ・断裁機
- ・画像検査装置付きカレンダー式丁合機
- ・単環縫いミシン・本縫いミシン
- ・高速トリマー・表紙貼り機
- ・バインダー・トライオート

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓個人の注文OK

✓絵本つくってます



『ぐりとぐら』シリーズなど福音館書店さまのロングセラー絵本を中心に製本しています。寒冷紗を貼ってからミシンをかける独自の技術により丈夫でしなやかな開きを実現！小規模ながら社内一貫生産体制が整っており、スタッフが1冊ずつ丁寧に仕上げています。弊社の中ミシン綴じで、未来に残したい本と一緒に作りませんか？



有限会社多田製本

製本

代表者 多田 善郎

従業員数 5名

創業年 1937年

電話番号 03-3968-2651

保有設備機器・装置

- ・断裁機（2台）・表紙貼機
- ・バーコード貼機・カバー折機
- ・クルミバインダー・キャラコ巻機
- ・いちょう機

✓大ロットOK

✓個人の注文OK

✓企画段階から相談承ります

✓絵本つくってます



社長と専務は双子の兄弟(!)である弊社は、「ぐりとぐら」で有名な福音館書店をはじめとする絵本製本専門工場です。

オーダーメイド絵本のサービスも展開しており、これまでもたくさんの子供たちに“世界で一つだけの絵本”をお届けしてまいりました。

これからも子供たちに夢のある絵本をお届けするため、ひとつひとつ、丁寧な仕事を心掛けてまいります。



株式会社田中紙工

製本

代表者 田中 眞文

従業員数 61名

創業年 1962年8月15日

電話番号 03-3966-4892

保有設備機器・装置

- ・ 平断裁機13台
- ・ カード丁合機3ライン
- ・ カード抜き機8台
- ・ 紙折り機2台
- ・ その他紙加工機多数

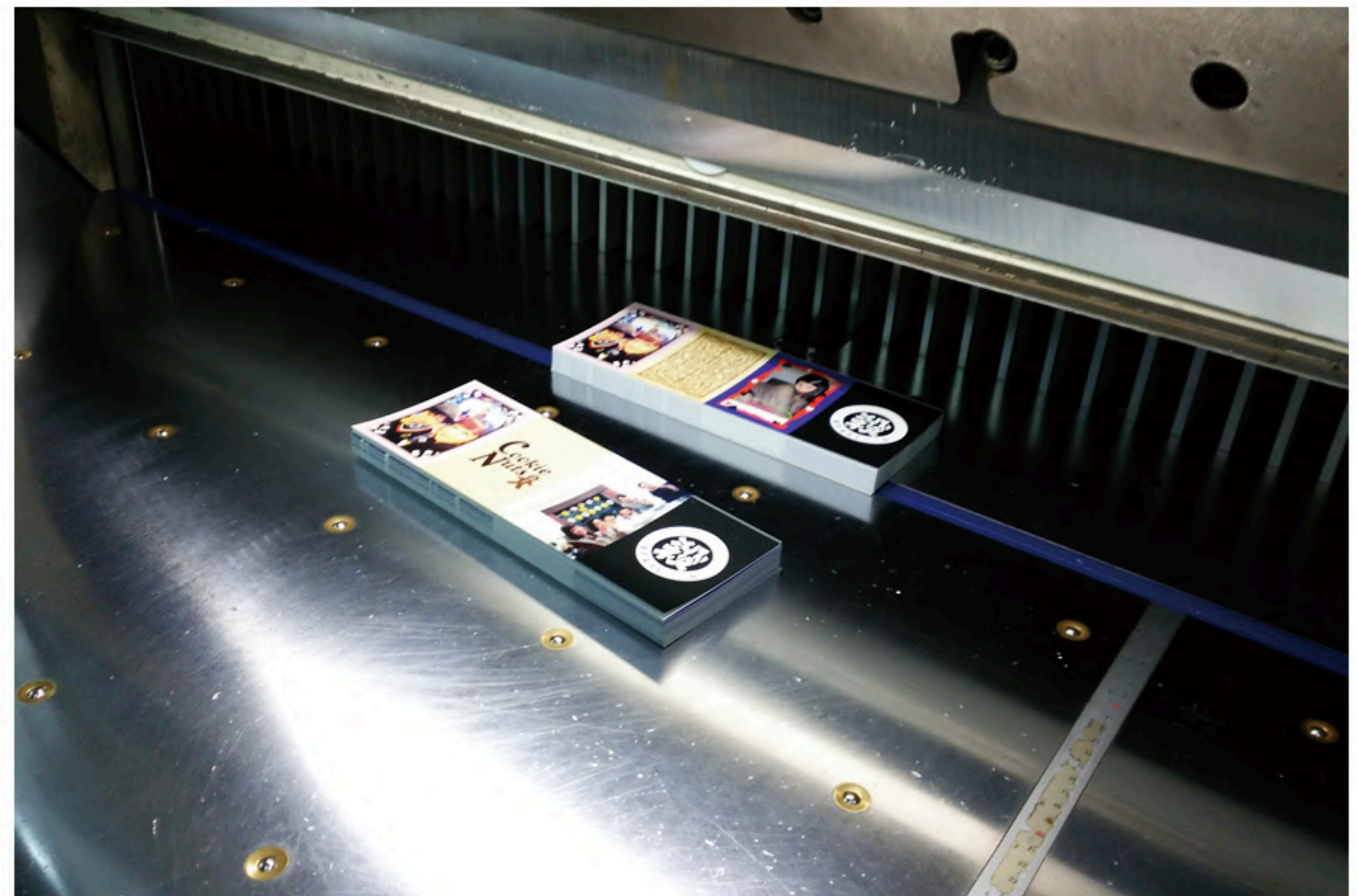
✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓個人の注文OK

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります



トランプ、トレカ、カルタ等のカードゲームの製本加工業者です。オリジナルカードゲームを1セットから大ロットまで、お造りいたします。印刷会社様には、刷り本支給で後加工のみでもOKです。



手製本工房まるみず組

製本

代表者 井上 夏生

従業員数 2名

創業年 2001年

電話番号 03-5995-0052

保有設備機器・装置

- ・手締めプレス機
- ・かがり台・断裁機
- ・木製プレス機
- ・バックングプレス機
- ・金属プレス機

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓自費出版対応できます

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓絵本つくってます



1冊だけ作りたい、ちょっとこだわったものにしたいなど、100冊以上あるサンプルを見ながら相談が可能。教室でテクニックを習いながら制作も出来、ショップでは材料や道具の購入もいただけます。



日経印刷株式会社

印刷

代表者 廣瀬 智
従業員数 439名
創業年 1964年
電話番号 03-6758-1001

保有設備機器・装置

- ・オフセット印刷機
- ・4Cフルカラー・2色機・断裁機
- ・中綴じ機・無線ライン

✓大ロットOK

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓絵本つくってます



企画から印刷製本発送まで一括して対応可能な総合印刷会社です。近年では紙以外の媒体も取り扱っており、デジタルメディアにも積極的に事業展開しています。「人の想いをカタチに」を企業コンセプトにクライアントの想いに応え、「モノづくり」を通じて「社会との繋がり」、「社会への貢献」を実現している企業です。また、各種の第三者認証を得ており、製造工程における「環境への配慮」も評価頂いています。



福島印刷工業株式会社

印刷

代表者 福島 宏昌
従業員数 140名
創業年 1956年
電話番号 03-5914-1421

保有設備機器・装置

- ・ デジタルオフセット印刷機
- ・ オフセット枚葉印刷機
- ・ オフセット輪転印刷機
- ・ フレキソUV印刷機
- ・ 加工機・検査機

✓小ロットからOK

✓大ロットOK

✓特殊な加工できます

✓企画段階から相談承ります

✓特殊な印刷できます



ラベル、軟包装、化粧箱、充填、セットアップ、デザインなどフルラインナップで包装資材をご提供する総合印刷会社です。パウチや袋もデジタル印刷で小ロット&短納期対応可能です。



牧製本印刷株式会社

製本

代表者 牧 孝吉
従業員数 70名
創業年 1901年
電話番号 03-3969-6661

保有設備機器・装置

- ・上製ライン
- ・並製ライン
- ・断裁機
- ・丁合機
- ・トライオート 他

- ✓小ロットからOK
- ✓大ロットOK
- ✓個人の注文OK
- ✓自費出版対応できます
- ✓特殊な加工できます
- ✓絵本つくってます



創業120年。書物本来の価値をさらに高めるため、
最良のかたちで一冊、一冊、心を込めて造ることが
私たちの使命であり、担い手としての誇りです。
伝統に培われた高度な技術と最新設備を駆使して、
常に業界最高水準の品質を誇っています。
製本に関することであれば、何でもご相談下さい。
上製、並製、絵本などあらゆる本に対応します。



株式会社ワカプロ

印刷

代表者 神田 久美子
従業員数 6名
創業年 1962年
電話番号 03-3934-2460

保有設備機器・装置

- ・ オンデマンド印刷機
- ・ オフセット印刷機(4色機)
- ・ 断裁機
- ・ CTP

- ✓小ロットからOK
- ✓大ロットOK
- ✓個人の注文OK
- ✓自費出版対応できます
- ✓企画段階から相談承ります



「想像を創造する」企業としてお客様の理想に近いものを。時にはそれを超えるものをご提供できるように、作り上げていきます。印刷物の可能性は無限大です。デザインのご提案から印刷・加工はもちろん、発送業務まで対応させていただきます。また、SDGs活動の一環として、「バナナペーパー」を使用し積極的に商品化を心がけています。



板橋のミライ INTERVIEW

No.3

牧
孝
吉

牧製本印刷株式会社

出版文化を製本で守る使命

出版関連業界は、今後も厳しい状況が続くと予想されますが、私は製本に付加価値をつけることによって、利益を享受できると思っています。

私は「トリアージ」という言葉を使うのですが、印刷製本業界は今後ますます企業数が多い中で出版点数・部数が小さくなっていきますので、企業のトリアージが必要であると考えています。

トリアージつまり優先順位を決めるという事ですので、企業はお客様の中での優先順位を上げ、選ばれ続ける会社になる必要があります。

では自社が選ばれ続ける会社になるためには何が必要なのか？ネームバリューや伝統もその要素かもしれません。しかし納期に間に合うようにお客様の要望通りに間違いなく「美しい本を作る」という信用・信頼が、当たり前の

ことですが重要であると思っています。

弊社は当たり前のことを当たり前にするというただ普通のサービスを実直に守り、お客様の立場に立ってきめ細かいサービスの提供をしてきました。また、製本に関する知識をフル活用し、お客様の要望に寄り添った提案を差し上げてきました。その上で今後はお客様に今まで以上に付加価値を与える事が選ばれ続ける会社になるために必要であると思っています。

弊社は創業1901年、今年で124年目を迎えることになり、創業から現在に至るまで製本業一筋で経営しています。私の祖父の「会社を必要以上に大きくする必要はないし製本業一本でやっていくんだよ」という言葉は、今でも私の心に大きな影響を及ぼしています。

企業は尖っていくこと、他社との差別化が重要ですが「弊社にとって一番尖りやすいのは？」と考えた時、やはり製本業であり、祖父の言葉そのままであると思います。

弊社は今後も製本業一筋に付加価値をつけ、もっと尖っていこうと思っており、お客様が手に持った時に「いい本だね」「すごく収まりがいいよね」と言っていただけ。本の中に何が書いてあるのかではなく「本の作り」を褒めていただける「牧製本がつくる美しい本」をこれからも作り続けていきたいと思っています。

「製本業を通じて出版文化の継続・発展(存続繁栄)に貢献する」これが弊社の経営理念です。

私は弊社に入社し、改めて出版業界における弊社の存在の大きさを知りました。

どこの会社にお邪魔しても、業界の集まりに参加しても、「牧製本さんですか？いつもお世話になっています」「あなたは牧製本さんのどなたの息子さんですか？」と決まって声を掛けられる。営業活動が続けていく中で、出版業界と弊社のつながりを強く感じ、出版業界における弊社の使命を強く感じるようになりました。

「間違いのない本、美しい本を世の中に提供するという使命を全うしよう」という企業理念の一つとして、この思い

を掲げ会社全体で共有しています。

私は、人は誰しも生まれてきたからには何かしらの使命や役割が必ずあると思っています。

「生きるってなに？」「何のために生まれてきたの？」「働くって何？何のために？」など、突き詰めて深く考えることが必要で、それにより、働くことに意味を持たせ、人生がより豊かになると思っています。

そのようなことを考える機会を与える事、教える事、そして大人がその姿を見せる事など「教育」が重要であると強く感じています。

何か世の中の学びに本を活用してもらえれば幸いと考えおりますし、身近な地域としての板橋区の取り組みにも協力できればと思っています。

例えば子供のころに本を読み考える習慣をつけるために、本を身近に感じ触れ合ってもらうために、工場見学や本作り体験的なことを企画できればと考えています。

教育という意味もありますが「本の魅力を後世に伝えていく」という弊社の使命にも合致することだと思います。



牧製本印刷株式会社

牧 孝吉氏

印刷・製本のまち板橋

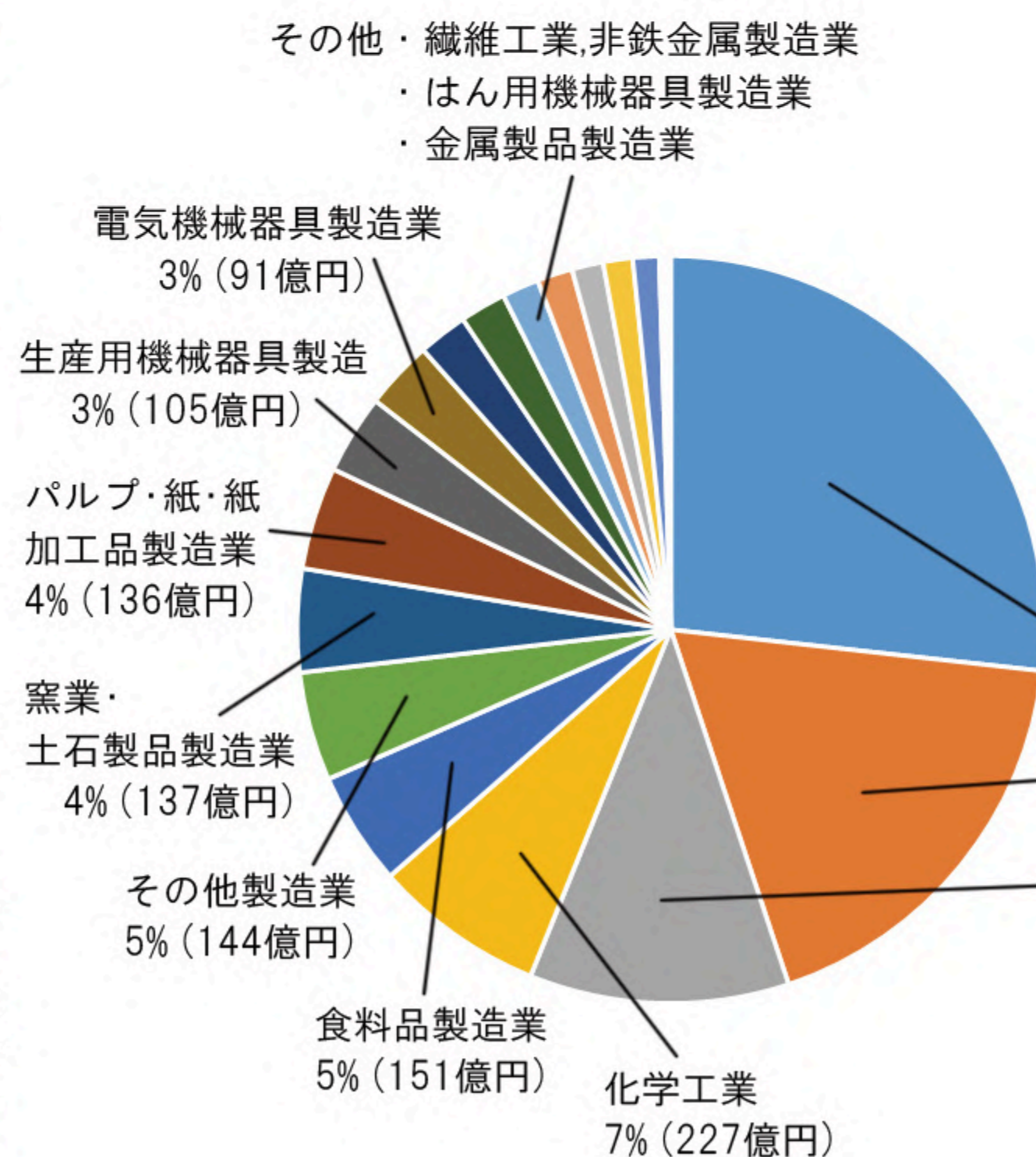
板橋区は印刷・製本の会社の集積地です。大手印刷会社、中小の印刷会社や関連する大小の製本会社が集まっているほか、紙、インキ、印刷機器のメンテナンスや卸を営む事務所などが相対的に集積しているのが板橋区の特徴です。

板橋の印刷・製本は
全国でもトップクラスの出荷額！

全国 印刷・同関連業 製造品出荷額等 上位5位

第1位	埼玉県蕨市	915億円
第2位	東京都江東区	850億円
第3位	東京都板橋区	822億円
第4位	東京都北区	679億円
第5位	埼玉県戸田市	675億円

※令和3年度経済センサスより



印刷・製本は区内の産業の約3割を
占めています！

板橋区製造品出荷額等 (3104億円)

印刷・同関連業	27% (822億円)
業務用機械器具製造業	18% (557億円)
鉄鋼業	11% (345億円)

※令和3年度経済センサスより

明治時代中期

銀座や神田を中心に印刷企業が多く立地し、新聞をはじめ書籍が製造される

大正時代

印刷の需要が拡大し、印刷機の大型化、動力化が進む

昭和 13 (1938) 年

凸版印刷(株)が東京市板橋区志村(現志村一丁目)に板橋工場を竣工し
操業を開始

昭和 30年代

多色刷りに対応するため機械が大型化。
千代田区や文京区、新宿区など印刷業が集積していた主要な都市部での
住工混在の問題から、比較的土地が広く、かつ工場が立地していた
板橋区に中小印刷企業が集積するようになる

昭和 53 (1978) 年ごろ

板橋区内での印刷関連業の工場数がピークを迎える

昭和 61 (1986) 年

工場団地の「板橋プリンティングプラザ」が開設し、印刷業の集積化が進む
印刷業は板橋区の製造品出荷額等でも50%を占めるほどの一大産業となる

現在

平成不況やリーマンショック、新型コロナウイルスなどの
外部経済環境の変化のなか
BtoC向けコンテンツの拡大デジタル化との共存など
現在進行形で印刷関連業は変化し続けている

板橋の印刷・製本の歴史



区内の印刷製本企業と連携した 今までの取り組み

いたばし絵本国際翻訳大賞では、区内印刷事業者が製本出版に協力しているほか、工場見学や体験教室など区内の印刷製本企業と連携して様々な取り組みを行ってきました。

今後は、令和3(2021)年3月にオープンした中央図書館に「いたばしボローニャ絵本館」が併設されたことを踏まえ、「絵本のまち板橋」関連事業と連携しながら区内印刷・製本業や関連企業の認知度を高めるための事業や、産業と文化を融合させた取組を検討していきます。

製本工場見学・体験教室



手製本ノート作り体験



親子による絵本づくり



作家・編集者・印刷製本企業それぞれの立場での
絵本づくりに対する想いやこだわりを語るトークショー

「絵本のまち板橋」事業の展開

板橋区では、持続可能な地域の発展に向けて、「絵本」と区との関係性に着目し、これを区の独自性と位置づけ、「絵本のまち板橋」を区のブランドとして展開、推進しています。

そこでめざすものは、子どもから大人まで、あらゆる人が絵本に親しみ、絵本を通じて自己、他者そして社会・世界を理解し、交流と活動が生まれるまちです。また、創作者が集まり、交流を通じてその能力が発揮され、新しい絵本や絵本文化が創造されるまちでもあります。

さらにそこでは、絵本そのもの、あるいはイラストレーションやテキストといった要素を用いて、社会課題が解決されたり、新しい価値が創造されたりする展開があります。区はその可能性を最大限に活かしながら、誰一人取り残さない、持続可能な都市として、区民、区内事業者・団体を始め、近隣地域、国内、世界との良好な関係を構築することをめざしています。





板橋の印刷製本

発行元：板橋区産業経済部産業振興課

印刷：株式会社オフセット岩村

製本：大村製本株式会社



ITABASHI Quality

～世界に誇るメイド・イン・イタバシ～